

相続土地 国庫帰属制度について

中島 制度概要は。

答弁 この制度は、「所有者不明土地」の発生を抑制することを目的に相続または遺贈によって土地の所有権を取得した相続人が、条件次第で土地を手放し国庫に帰属させることが可能となる制度です。

中島 申請の流れは。

答弁 地方事務局で手数料（一筆あたり1万4千円）を支払い承認申請を行います。申請後法務局による要件審査が行われ、承認されれば負担金（面積にかかわらず20万円）を納付することで国庫帰属となります。また、山林などは面積他条件に応じた算定となっています。

中島 土地の要件は。

答弁 申請の段階で直ちに却下となる要件と審査の段階で不承認となる要件が法令で定められており、該当する土地は国庫帰属できません。

中島 来年度から始まる相続登記義務化の説明を。

答弁 令和6年4月1日から「相続登記の義務化」が実施され、相続で



中島 國孝 議員

不動産取得を知った日から3年以内に正当な理由がなく登記・名義変更手続きをしないと10万円以下の過料が課せられます。また、登記名義人が住所変更した場合の不動産登記も義務化され、2年以内に正当な理由がなく手続きをしなければ5万円以下の過料が課せられます。

中島 国庫帰属土地が増えた場合の問題点は。

答弁 良い点として、望まない土地の取得による負担軽減や管理不全の土地が減ります。問題点として、固定資産税の収減が考えられます。

中島 市長の考えは。

答弁 管理不全の空き家や空き地の相談が多くあります。この制度で所有者不明土地の発生を抑制する有効な手段になると考えています。

天山多久温泉タクア について

千北 正確な引き渡し日は。

答弁 使用貸借物件引渡確認書により令和9年9月30日までが契約の期間となっています。

千北 タクアの営業実績など、多久市への報告は。

答弁 毎月の利用状況や決算資料についても定期的に提出いただいています。

千北 コロナ禍後のインバウンドの状況は。

答弁 市内4か所あるゴルフ場では、令和5年1月から11月までに3,762人、タクアの宿泊については4月から11月末までに729人の外国人のお客様が利用されています。

千北 経営における市としての助成は。

答弁 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」による事業者向けの多久市独自策は行っていませんが、運営に関する経費などについては現時点では考えていません。



公立佐賀中央病院の土地開発について

千北 かんがい用水の確保など、問題が出てきた時の対応は。

答弁 基本的には多久小城医療組合で対応しますが、できない場合につきましては多久市、また、小城市で協議をし、対応を図っていきます。



千北 政利 議員

千北 10年経過時点の契約の更新、新規での更新契約、売却など将来は。

答弁 タクアとの契約更新に関する協議を早い段階で、市としての方針などを踏まえて行わなければいけないと考えています。いずれにしても、よりよい方向性を見いだせるよう検討していきます。

認知症に対する 市の取り組みについて

尾形 認知症高齢者の現状把握は。

答弁 令和4年度75歳以上の後期高齢者医療保険加入者3,434人のうち523人（約15.2%）となっています。

尾形 認知症施策推進大綱には予防と共生の両輪として施策推進とあるが現状は。

答弁 予防としては生活習慣病の重症化からの認知症になりやすい事実を根拠に治療の継続および健診受診を勧めています。共生としては認知症サポーター養成講座や認知症カフェなどを通して認知症への理解を深めていくよう努めています。また、認知症の人と暮らす家族の生活支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援者を繋ぐチームオレンジの設置で自分らしく暮らし続けることができる町を目指しています。

尾形 市民に対する啓発は。

答弁 認知症サポーター養成講座をはじめ認知症カフェにて、多久市の認知症ケアパスの配布、さらに市報やホームページによる周知に努めています。また、講座に関しては市内

多久市市政施行70周年 記念事業とは

彌富 市政70周年記念事業は市民が誇れる・市として品格のある式典内容にしたい。

答弁 今日まで多久市の発展に貢献された人に敬意と感謝を表し、未来志向の式典事業にします。記念式典・冠記念事業・特別事業および市民の参加を検討しています。



彌富 式典行事への提案

- ① 市内中学校・高校吹奏学部・消防楽隊
- ② 多久の近現代歴史展
- ③ 多久市の未来への講話
- ④ 子どもたちの未来へのメッセージなど

答弁 参考にさせていただきます。

池田学氏の絵画の購入について

彌富 絵画購入は以前から総合計画にあったのか。購入後も市民からは賛否両論があったが、コロナ禍で市民生活が大変な時に、子育て支援などに活用すべきだったのでは。



尾形 武史 議員

義務教育3校で前後期課程向け講座や地域企業、住民向けなど多岐に行っています。

尾形 認知症の見守り支援は。

答弁 地域や関係機関での見守り活動に取り組んでいます。徘徊などのおそれがある認知症高齢者の人にはチャット方式で位置情報が確認できる見守り支援シール交付事業を行っています。



彌富 博幸 議員

答弁 以前より池田氏の絵画を本市が持つことに意義があると考えていて、同氏プロデューサーより提案され市でも絵画を持つことを決めました。

彌富 保管管理は100年〜500年間と維持可能か。

答弁 温度・湿度の徹底管理をしており、紙の材質・インクも特殊で長期保存が可能です。

彌富 常設場所は。

答弁 市役所玄関ロビーです。一部はカナダなど個展貸与です。

彌富 市の財産として購入したのであれば池田学賞などの文化事業を創設してはどうか。

答弁 世界的に評価も高い、多久市出身の画家です。本人の意見や状況も慎重に見守り、貴重な提起をいただきましたので、進展・展開に向けて市としてしっかり考え対応していきます。